

宮城県・仙台市かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

1 目的

発達障害児者支援に対する県民ニーズが高まる中、専門医療機関への予約の過集中や地域偏在が課題となっており、各地域における円滑な診療体制の構築が求められている。そこで、かかりつけ医が発達障害の早期兆候に気づき、育児支援や家族ニーズに応じた専門機関への紹介等の対応が可能となるような研修を開催し、専門医療機関とかかりつけ医の機能分化及びネットワーク構築を図る。

2 主催

宮城県（東北大学病院に委託）、仙台市

3 対象

小児科医

4 日程及び会場

日時 平成30年12月1日（土）午後6時から8時まで

会場 仙台市南部発達相談支援センター（南部アーチル）

5 内容

（1）行政説明「宮城県・仙台市における発達障害支援体制について」（宮城県、仙台市より）

（2）講話「発達障害支援医学研修～早期支援～」(国研修カリキュラムに基づく)

講師 仙台市北部発達相談支援センター 主幹 奈良千恵子医師

内容 発達障害の特徴と発見のポイント、かかりつけ医に期待する役割など

6 受講者

医師45名、臨床心理士1名

（気仙沼圏域、仙南圏域からの受講者あり）

7 アンケート結果

約97%の方が「よく理解できた」「おおむね理解できた」と評価。動画を活用した具体的な内容が好評で、一定の効果が得られたと思われる。一方、「支援機関の情報が欲しい」「早期発見後の療育の場や支援体制を整備して欲しい」との意見が寄せられた。

8 今後の予定

来年度も仙台市と連携して企画する。より多くの医師に受講いただくため、開催地や対象を見直す。